令和2年 7月18日 第16号



ハナイカダ(花筏)

を筏(いかだ)に見立てたものです。「花筏」 一度見たら忘れることのできない植 り目立た て流 ۲, ŋ, 散った桜の花 は 四 由 ない 大水の 月ごろ、 黒紫色に熟してきます。 れていく 来 は、 小さな花を付けます。 流 花 !や実が 葉の中央部に、 ħ 様子のことを表 びらが水面に浮 に浮かぶ筏そ ۲ 漢字 た ケイトウ(鶏頭) らう) ことはありますが、 七日 0 不思議です の目鷹の り)で見るくら せ を覚える 「一富士、二鷹、 でしょうか ん。 か らは 動 目」「ト 時期らし 物 ね。 1末項、 園 か T V

しま

1

カ

緑

ま

緑 色

0 あ ナ が

実になり

で書くと、

普通は、

カ

0

名

前

は

じ

○第三十三候、

4

暑、

赤色のサルスベリが咲き出しまし

た。

れら

・連なっ

雨

風

15 · 葉 が 色

揺

れる

ものです。

ら 食を得る ヒ は 食物 ウ やライ 連 0 技を習う」 鍞 が 結構 オン 0 頂 点にい と同じ 大変なの Z Vì j ŧ で、 でし す 0 が は、 肉 ょ 食 う 狩 0 お そら りをす ね 動 物 彼は



セイヨウニンジンボク

りと学

習

わ

と生きてい Í す。 15 っ

け だ け

死 る 15 15 を は

することに

なり

から

つ 飢

そ

n

な ŋ 0

技を身

な い Y

Ž

鷹は爪を隠す」などのことわざがあるの めてひらく)、(七月一二~一六日)。 春に生まれた鷹の幼鳥が飛ぶこと いですね。 昔はそんなに鷹が見ら 三なすび」をはじ ンビが鷹を生む」 鷹乃学習 鷹を見ることは の時代劇(殿様 次 常、 項、 な 開 <u>た</u> ١ 蓮 か ンビを見る 始 わ 「能 め、 開 ざをな 初 鷹狩 は ある れ た。 た 0 す

日



白色のサルスベリはもう花盛りとなっています。



サルスベリ(赤)

るか、 家の た。 逆になりますので、 かの る方向へ見たときの巻き方で述べます。 方を確認してみました。 あります 数株を見ただけですが のネジバナをよく見てみました。 ○前号のネジバ 巻き方になっているはずですが。 庭にあるもので巻いているものの巻き 面 白 根元の方から伸びる方向に見るかで V ですね。 巻いてい ナの巻き方が気になって他 ここでは根元から伸び 普通、 ない 巻き方は上から見 右巻きも左巻きも ものもありまし 植 物ははどちら 我が家の 我が



左巻きです。

カズラやヘクソカズラなどがあるようで

[左巻き]庭にはありませんでした。

スイ



巻いていません





上から見て表現しているため。

池坊では左巻きとして扱っています

これは

[右巻き] ヤマイモ、

アサガオ、

ツルマメ



ヤマイモ

ネジバナはやはり右巻きも左巻きもあるようです。

調べてみましたが、

右巻きが多いようですね。

右巻きです。







ツルマメ



アサガオ



ソカズラ(屁糞葛)

想

す

る 二

らで

す

ね

ホ

才

ズ  $\lambda$ 

キ

は 鬼

0 赤

持つ

才

は

花

0

色や

形

な

Y

なく

鬼

を

確 ば た 認 15 は 生 で きま えて を 放つところから名付けられたよう せ Vì んで る 0 L を た。 見 つ 葉 け や茎などを ま L た 傷 卷

方

0

## $\bigcirc$ 姬 Y

あ ŋ 寸 ま 法 せ 師 植 鬼 物 0 名前 お 姫 15 様 ヒ を X 助 や け オニと 3 話 で は

根に 15 意 ヒ ヒ 味ら ギ は ギ(姫空木)やヒ 才 ح ゥ 水 Ł ギ(桧扇)の つくも オウギ、 仙 1 0 セ よう で のは す 姫 な球根 Ł ね 花 メガマ(姫 4 X 扇 15 さくてか Ł 水 が 似 才 仙 て あ ウ る ギ い 蒲 他 わ て 0 15 な Vì 15 で 似 11 ど、 は い ヒ て ż Z ヒ X い い 頭 て 0

才 7 才 j 才 意 バ 味です コ や オニ ね バ ス オニユリ(鬼百 0 オニは 大

> を 不 才 灯 表 気 な す 味 0 0 な で でし ŧ 0 ŧ ょ よう ì 大 は か ね。 きなもの 見た 鬼 目が 灯 などハ ۲ 強そうなも 書 き ド ŧ す な姿 ね 0,

> > は

効



ルリタマアザミ(瑠璃玉アザミ)

て

アブチロン チロリアンランプ

て

カラ

を

見 嬉

なく

な

ŋ

ま

L

た。 月

力

ラ

と も

あ

ŋ

ま

す。

以 頭

前

力 鳥

ラ

ス 羽

0

羽 落

が落 ちて

ち

た

2

き

Vì

こ と

に、

数

ケ

15

わ

た て る

ん。

ま

た、

魚

0

や

0

が

あ

庭 ら

見

て

た

Y

思

n n け

ŧ た

キ

ネ ス は

襲

わ か

0

を、

仲

間

提 人 蝶 0 前 道 道( 回 ち ŧ ょ う ま どう)と た よう 獣 15 道( ア ゲ け ハ ŧ チ 0 3 4 ウ な

に出 時に を仕 を見つ す。 よう とる た VI る 0 会 起 蝶 跡 で る 掛 猟 物 ょ 捕 園 自 す。 きて 所や 道 を 町 ようで 師 ず け は 路 VI け ŧ 虫 内 残 Y そ たら さ 網 は ま た 蝶 庭に出 と言っ す。 ŋ 彼 水 0 VI n を を h ミズを す。 どこか を飲 て 0 捕 は つ ぞ とっ ŧ キ V 猟 獣 ま そ n ま 通 えること て ツ て る 私 0 銃 道 む 0 捕 ネ、 is す。 は 場 習 同 て キ 0 で を る 道 歩 つ 花 É 待 ょ で 住 ツ で 決 所 性 じ 0 た ネ 時 獣 4 ネ す を ち < ま な 15 待 回 道 ズミ 0 は二 ょ が ち る を 道 つ 伏 つ ど 知 い か できま ょ け せ つ た か つ 伏 巡 Vì か ŧ 年 決ま て 畑 な て ょ る 道 せ ŋ 回 モ L た ほ < す 日 VI は す。 穴を ħ る キツ ŋ て、 つ て ŧ ど は あ て 工 ラ ま す。 ż ŋ て 方 Vì 前 朝 サ 蝶 せ る ネ 罠 ま 道 か 五 n い

習 Y 0 じ 深い意味がありますの コ よく 道 1 道とでも呼びましょうか。 7 で 考えると、 スを無意識の ŧ 呼べそうです 私 内 も庭 にと 0 虫 て 取 ŋ n VI デナ には ま 一見 ŧ 回 人 同



生花正風体

花弁が

特

徴で、

そ

のユニークな姿からスパイダ

ý l

とも呼ば

れていま

咲きつづけている

Ł

ル

キミソウ(昼咲き月



グラジオラス

学ぶは真似るから来ているそうですので。 生花は竹内稔晴先生の作品を真似していけました。 上段の生花は井上三郎先生の作品を、 マススキ、 この段の



ヒメノカリス

ディープインパクト、 写真の花は、 メノカリス ħ ク は同名の競走馬の説明です。 2017年4月1日生まれ、 モ の脚のように飛び出した六本 母ドバイマジェスティ。 牝馬、 失 父

に開花

し朝にはしぼんでしまいます。

太宰治が富

も夕方

用です。これも本物のツキミソウ(月見草)

グサ(待宵草)。

一般にツキミソウと呼ばれます

右

は同じく道路端から

採ってきたオオ

ツ 3 が

士に

似

合うと言っ

た

0

は

オ

才

マツヨイグサらし

ですが、

野村克也の言っ

たの

は、

どちら?

下

は

庭の一

角で

五月

頃

初旬)に出しますのでここでは披露できません。 新風 体に け ましたが、 Н Pの月次会(八月



路 月

端

から採

ってきたセイ

バンモロコシと取り

ました。

お楽しみにと言いたいですが

七日

が立秋です

,ので、

そ

の風情を出す

た

道



オオマツヨイグサ



セイバンモロコシ

- 5 -	
-------	--